

さがづくり委員会

事業計画（案）

佐賀ブロック協議会

さがづくり委員会 委員長 玉置 大輔

1 現在日本では、人口減少の最中、九州・沖縄では人材不足という企業が半数を超え、特
2 に佐賀県は約60%と深刻な人手不足が問題となっている一方、その中には地方創生を実
3 現できる人材となる原石が発掘・研磨されていない可能性を秘めています。我々は、率先
4 して行動のできる人材として、原石を見つけ出し、多方向から考えることができ、一人ひ
5 とりが現状よりも一歩高みへ登ることができる人づくりを行うことが必要です。

6 まずは、全員が挑戦し、誰一人取り残さない日本社会を築くために、本会の事業・運動
7 を推進します。そして、様々な職業や教育など多方向から考えることのできる人づくりを
8 行うために、経験豊富なメンバー・OBを皮切りに、各々が経営する企業や様々な自治体
9 を訪問し調査・研究することで、人材の成長の一助にします。さらに、一歩高みへ登るこ
10 とができる人づくりの指標とするために、国連が定めるSDGsに注目し、まだまだ認知
11 度が低いSDGsを周知することで、啓発活動に努めSDGsを押し広げます。また、S
12 DGsの1つの目標のパートナーシップの醸成を達成するために、SDGs運動実施企業
13 を県内企業の0.1%に当たる30社を目標とすることで、多くの企業にその重要性を伝
14 えます。そして、官民の垣根を超え同じ方向を向いて行動するために、官民入り混じって
15 ディスカッションできる場を提供し、県民が一丸となって未来の佐賀を考えることのでき
16 る人づくりを創造します。さらに、県民が人づくりの重要性の意識を醸成するために、企
17 業や自治体との対話について県民に広報・報告し、より強い理解と官民の隔てのない協働
18 へとつなげます。

19 我々がより良い人材となり、熱い想いを伝心させ、多くの人材を生み、我々の目指す明
20 るい豊かな社会を実現させることのできる原石の発掘・研磨が可能となり、強いては人づ
21 くりを介して佐賀の経済発展への一助となり、佐賀の進歩と繁栄の礎となります。

22

23 <事業計画>

- 24 1. 本会・九州地区協議会事業・運動の推進
- 25 2. 地域社会でSDGsを達成するための事業の実施
- 26 3. 地方創生を実現するための事業の実施
- 27 4. G20YEAへの協力・推進